

社会資本総合整備計画 事後評価書

78 安全でうるおいあふれる人にやさしいまちづくり (防災・安全)																								
計画の期間	平成26年度 ~ 平成27年度 (2年間)					交付対象	焼津市																	
計画の目標	交通ネットワークにおける安全で快適な移動環境と、自然環境と景観に配慮し、災害にも強い魅力ある住環境が融合したうるおいとやすらぎのある都市空間を創出することにより、誰もが利用しやすく活動しやすいまちを目指す。																							
計画の成果目標 (定量的指標)	生活道路の整備が進み、車やバイク等で移動するときに円滑に道路を通行できるようになったと思う市民の割合 (%)																							
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H26当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活道路の整備が進み、車やバイク等で移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合 (%) ※焼津市市民満足度調査による</td> <td>45.1%</td> <td></td> <td>46.9%</td> </tr> </tbody> </table>													定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)	生活道路の整備が進み、車やバイク等で移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合 (%) ※焼津市市民満足度調査による	45.1%		46.9%
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																				
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)																					
	生活道路の整備が進み、車やバイク等で移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合 (%) ※焼津市市民満足度調査による	45.1%			46.9%																			
全体事業費	合計 (A+B+C)	169.5 百万円	A	169.5 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%														
交付対象事業																								
A1 基幹事業																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考								
									H26	H27	H28	H29	H30											
78-A1	街路	一般	焼津市	直接	焼津市	(都) 小川港道原線他		焼津市						169.5	△	計画94へ移行								
78-A2	街路	一般	焼津市	直接	焼津市	(都) 小川称宜島線		焼津市							—	未実施								
合計													169.5											
B 関連社会資本整備事業																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考								
									H26	H27	H28	H29	H30											
合計													0											
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考									
C 効果促進事業																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考								
									H26	H27	H28	H29	H30											
合計													0											
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考									

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関する 交付対象事業の発現状況		・ 当計画期間内において、事業計画どおり用地買収 4 件、物件補償 5 件を実施したことで移行前の整備計画と合せ 82%（本整備計画では 36%）の道路用地を確保することが出来た。				
II 定量的指標の 達成状況	指標① 生活道路の整備が進み、車やバイク等で移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合（%）	最終目標値	46.9	%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	49.7	%		
	指標②	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記載)						
3. 特記事項（今後の方針等）						
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き社会資本整備総合交付金を活用し、事業認可の完了期日である平成30年3月31日までに、対象である小川港道原線の事業完了を目指す。 本路線は、関連事業となる焼津市南部土地区画整理事業において整備した路線を延伸する事業であり、整備を実施することで災害時における迅速な道路交通も併せて確保することができることから、安全で快適な移動環境の創出のため早期完了に向けて事業を遂行する。 						

・進捗状況については、○：計画期間内に完成、△計画期間終了後に完成見込み、－：その他（備考欄に具体的に記入（中止、未実施等）